

地域連携だより



発行：J A新潟厚生連 小千谷総合病院 患者サポートセンター
〒947-8701 小千谷市大字平沢新田111番地
TEL. 0258-81-1616(直通) FAX. 0258-81-1602(直通)



バミューダトライアングルから救い出せ！ 今、地域医療に求められる 骨粗鬆症リエゾンサービス

小千谷総合病院 整形外科 古賀 寛
(新潟大学大学院医歯学総合研究科
フレイル予防のための運動器科学講座 特任准教授)

◆要介護予防のために重要な骨粗鬆症治療

令和元年度の厚生労働省の国民生活基礎調査によると全国で要介護認定を受けた人数は約650万人。男性が200万人。女性が450万人いるとされます。要介護となってしまった原因は足腰の痛みなどの関節疾患が11%。転倒や骨折によるものが13%で、合わせると体を動かす運動器に関する障害が最も多い原因となります。要介護認定者は女性の割合が高い上に、女性は更年期以降閉経することで女性ホルモンが減り、骨密度が急激に低下していくことがわかっています。高齢化社会において要介護者を減らしていくためには、女性の骨粗鬆症対策がいかに重要かがわかります。

<厚生労働省「国民生活基礎調査の概況」／令和元年>

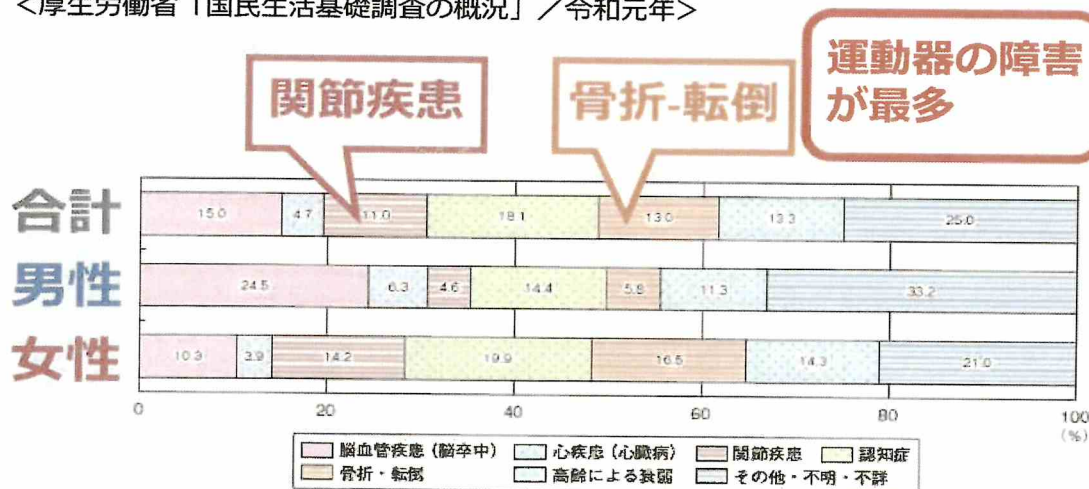


図1 日本の要介護要因

◆骨粗鬆症治療の最終目標は大腿骨近位部骨折を予防すること

大腿骨近位部骨折は脚の付け根、股関節の骨折です。とても頻度の高い骨折で高齢になればなるほど発生率が上昇します。骨粗鬆症を治療する最も重要な目的の一つはこの骨折を予防することといえます。なぜなら受傷により歩行ができなくなることで、様々な合併症を悪化させ高齢者の生活、命に直結することになるからです。この骨折を受傷した人はそれ以前にすでに骨粗鬆症による他の骨折を経験している人が多く、また片方の脚の骨折をした人が反対の脚も骨折をするとさらに致命的になることがわかっています。骨粗鬆症により連鎖していく骨折を食い止めることが必要なのです。

◆骨粗鬆症治療のパミューダトライアングル

骨粗鬆症治療はこれまでにたくさんの効果ある薬物が開発され発展してきました。しかし残念ながら、骨折発生は高齢化に伴って増え続けています。これは、骨粗鬆症には自覚症状がないため、治療が患者さんの生活に根付いていかないことも原因の一つと考えられます。骨折の受傷や骨密度検診などで治療が必要な骨粗鬆症が発見されても、治療がきちんと行きわたらないままになってしまう。この現状を最近私たち整形外科医はパミューダトライアングルにたとえています。

たとえば骨折を受傷した患者さんの場合、多くは手術を受けた急性期病院からリハビリを中心にした回復期病院に転院。退院後はかかりつけ医院に移っていきます。しかし、骨折が治癒したのは患者さんは症状もなく、通院間隔も広がっていきます。骨折の原因だった骨粗鬆症の治療はこの3つの病院の三角形を歩き来する中で忘れ去られてしまい、継続できなくなってしまうケースが多いのです。

◆治療脱落を防ぐための骨粗鬆症リエゾンサービス

これまでの骨粗鬆症治療は忙しい整形外科医と自覚症状の無い患者の関係性の中で脱落してしまうことが問題でした。この問題を解決するための新しい治療の形が骨粗鬆症リエゾンサービスです。リエゾンとは「連絡係」と訳され、診療におけるコーディネーターの役割を意味します。骨粗鬆症診療に多職種連携の連携づくり、チームで取り組むことでより質の高い治療と新たな骨折防止を目指します。現在、全国各地でこのリエゾンチームが生まれています。地域ごとに医療の環境は違っており、それぞれの地域がその地域の現状・特徴に合った治療環境を作る必要があるからです。

◆新潟県、小千谷市でも始まるリエゾンサービス

新潟県は私も所属する新潟大学整形外科が率先して骨粗鬆症リエゾンサービスを主導していく骨粗鬆症マネージャー育成に助成制度を設けるなど、各地でのチーム作りを進めています。小千谷総合病院では各診療所から骨密度測定（骨塩定量検査）を簡便に利用できるような体制を整えました。このように小千谷市でも治療環境の整備を進めております。命にかかわる骨折を減らし、健康な日々を守るため皆さんもチームに加わってください。

骨塩定量検査の施設利用についてのご紹介

骨粗鬆症の診断や治療効果判定に重要な骨塩定量検査の利用方法についてご紹介させていただきます。ぜひ、ご利用いただきますようお願いいたします。

1. 検査の申込み方法

「骨塩定量（骨密度）検査依頼書 兼 診療情報提供書」を当院ホームページよりダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、患者サポートセンター（病診連携）へお申込み（FAX）ください。予約調整後患者さま向けご案内用紙を返信いたします。（詳細は当院ホームページをご参照ください）

2. 検査費用の取り扱いについて

検査の提供のみで医師の診察・判読はおこないませんので患者様の当院での会計はございません。

ご依頼元の医療機関様へ当院から検査費用（診療報酬点数の10割）の請求をいたします。ご依頼元医療機関様は自医療機関が実施したものと同様にお取り扱いください。

検査料金 (診療報酬点数10割)	・大腿骨+腰椎	4500円	・大腿骨のみ	1400円
	・腰椎のみ	3600円	・前腕のみ	1400円

費用の流れ



申込み用紙を同封させていただきました。お問い合わせは〈患者サポートセンター・病診連携 事務：平沢〉までご連絡をお願いいたします。



お知らせ

この度、医師の異動に伴い担当医が変更になりました。

【転出】 【転入】

常勤	(外科)	大岩 智	根本万理子 (ネモト マリコ)	
非常勤	(内科)		落合 幸江 (オチアイ ユキエ)	※毎週 月曜 午前 水曜 午前

少し早いですが…

お盆休みのお知らせです



8月14日(月) 休診となります



患者サポートセンター

患者サポートセンターは、地域連携・患者総合相談・入退院支援・病床管理の機能があります。令和5年4月から入院支援看護師を3名に増員し、入院前から退院し地域での生活までシームレスな支援に取り組んでいます。



前列左より：入院支援Ns 瀧澤(新任)、チーフマネージャー 船越(新任)、部長 家里、マネージャー 島村(新任)、事務 平沢
後列左より：入院支援Ns 中村(新任)、入院支援Ns 宮、MSW 小林、MSW 早見、MSW 阿部(新任)、退院支援Ns 喜多村、退院支援Ns 猪又

ご挨拶

地域連携支援部チーフマネージャー (MSW) 船越 愛

日頃より、小千谷総合病院ならびに地域連携支援部患者サポートセンターにご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。この度、地域連携支援部チーフマネージャーを拝命しました船越愛と申します。地域連携支援部患者サポートセンターは病院における多職種協働、地域連携を担う要の部署であり、その役割をしっかりと果たし、患者様に寄り添い、地域関係機関の皆様から信頼いただけるようスタッフと共に努めてまいりたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

地域連携支援部マネージャー (Ns) 島村 真弓

令和5年4月より地域連携支援部・患者サポートセンターに配属となりました島村真弓と申します。これまでは外来勤務をしておりました。4月からは病床管理を主に行っておりますが、これから在宅医療の提供体制に求められる医療機能の理解に努め、関係機関の方々と連携強化を図り患者様が、この住み慣れた小千谷で安心して医療を受けられ、切れ目のないケアを退院後も受けられるよう取り組んでまいりたいと思います。今後ともご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

地域連携支援部長 家里 裕

猛威をふるった新型コロナウイルスも5月8日からは5類に引き下げられ、インフルエンザ並みの扱いになりました。行動制限も大幅に緩和され、普通の日常生活が戻りつつあります。コロナ感染症も何とか収束に向かってくれることを願っています。今回は整形外科の古賀寛先生より骨粗鬆症から骨折し、要介護認定になるリスクの大きさと防止の為の他職種の連携による骨粗鬆症治療の継続についてお話を頂きました。皆様にも連携に加わっていただきたいと思います。患者サポートセンターもメンバーが一新され、より充実されました。今後ともよろしく願い致します。